



子どもたちの
「カヌー競技を見てみたくな
った」「英語で話すのが難し
かったが、笑顔で答えてく
れて嬉しかった」「オースト
リアやカヌーのことを知る
ことが出来て楽しい交流会
だった」「背が高くてキレイ
だった」などさまざまな声
が聞けました。



23日は、羽根田卓也選手の銅メ
ダル獲得を記念し、毎年市内で行
われている大会に出場。世界で活
躍する選手の技術を見ようと多く
の見学者が訪れました。
選手たちは「出会う人みんなが
とても親切にもてなしてくれた」
（カトリン選手）「学校でオースト
リアへの興味が高いことにびっく
りした」（ニーナ選手）とそれぞ
れ話してくれました。

ハネタクカップにも出場

22日は安曇野リバープレイヤー
ズクラブ主催のカヌー講習会に参
加。集まったカヌー競技者約50人
が初心者・上級者に分かれ両選手
からテクニックを学びました。タ
方には安曇野・クラムザツハ友好
会主催の歓迎コンサートが市本庁
舎で開かれ、日本の童謡・唱歌や
友好都市のあるチロル地方の音楽
を250人の観客とともに鑑賞し
ました。

21日は明南小学校と穂高東中学
校を訪問。お互いの国や文化の違
いを紹介したり、子どもたちから
英語で夏休みの体験を聞くなどし
て交流を深めました。休み時間
には生徒が披露した「けん玉」の技
に挑戦したり、初めて日本の学校
給食を味わうなど日本の文化を存
分に楽しんでいました。

多くの市民と交流

2020年東京オリンピック・
パラリンピックホストタウン事業
の一環として、9月21日から23日
の3日間、オーストリアカヌー連
盟のカトリン選手とニーナ選手の
2人が安曇野を訪れ、市内の小中
学生らと交流しました。

安曇野に3日間滞在

Austria



Japan



市長 宮澤宗弘

安曇野市は、オーストリア共和国チロ
ル州クラムザツハとの姉妹都市交流が契
機となり、東京2020大会でのオースト
リア・カヌーチームのホストタウンに登
録されました。明科の前川は落差がなく
緩流のため、残念ながらオリンピックの
事前合宿は行えませんが、この縁を大切
にして交流事業を進めてまいります。

東京2020大会では日本とオーストリア選手団へ熱い
声援を送りましょう！